

自然と歴史

歴史ある港町、美保関は、島根半島の東端に位置し、印象的な岬と多くの入り江が特徴の魅力ある町です。「リアス式海岸」と呼ばれる複雑に入り組んだ海岸は、展望台やクルーズ船から鑑賞することができます。美保関はかつて、日本の沿岸部やアジア大陸に商品を運ぶ大きな船である北前船の港町として栄えていました。

この町にある美保神社は、繁栄と漁業の神である恵比寿様へ捧げられた神社で、日本全国約3,400ある恵比寿様を祀る神社の総本宮です。住人たちは何世紀にもわたって、神社や海外泊いで神を祀る儀式を取り行ってきました。美保神社から遠くないところには、19世紀の家屋や旅館が並び、地元産の美しい緑の石が敷かれた青石畳通りがあります。地蔵崎周辺には散策道が整備され、岬の先端に立つ印象的な灯台や展望台へと続いています。灯台へ上ることはできませんが、岬からは大山や日本海の彼方遠方へ浮かぶ隠岐諸島など日本海の景色がみられます。この美保関灯台は海からの高さ約90mで1898年に建てられました。かつて灯台守の宿泊舎として使われていた海沿いのレストランが併設され、日本海の景色を眺めながら食事をするすることができます。

アクティビティ

美保関に来た旅行者は、美しい海岸景観を間近で眺めるクルーズをしたり、伝統的なトビウオ漁を体験したり、その他のマリンアクティビティを楽しむことができます。伝説によれば、漁師と反映の神である恵比寿様はかつてこの地域で釣りをしたと言われています。旅行者は美保神社で一年中毎朝行われる神事に参加したり、maiden dance（巫女舞い）を見ることができます。五本松公園から地蔵崎への1時間のハイキングでは、島根半島の素晴らしい景色を一年中堪能できます。公園周辺は、春の終わりから5月初旬まで5000株以上のつつじの花が見られます。